


目次 CONTENTS

- 2 今月の話題「プレミアム付商品券」
- 4 特集「地域みがきあげ計画」
- 10 農業委員会から「新委員の紹介」
- 11 学びの広場「こども園たなばた」ほか
- 12 飯館百景「向日葵と紫陽花」
- 14 報告「相双建設事務所からのお知らせ」
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 はなれていても／ふれ愛館だより
- 20 おしらせのページ
- 21 入札結果
- 22 いいたてDIARY／ラオス通信。
- 23 ふるさと資源／ひとのうごき
- 24 ほっとNEWS／飯館言葉の達人



今月の表紙  
深谷復興拠点エリアの新施設、いいたて村のドッグラン「わんこの庭のびのび」です。7月17日のオープン日に開催した開庭イベントで、わんこ達のファーストランを行いました。「わんこの庭のびのび」は1頭1回500円（道の駅レジで受け付け）で、午前10時から午後4時まで（10月から3月は午後3時まで）、水曜定休です。利用者証の返却時に道の駅利用券（500円分）がもらえます。

 村出身の災害救助犬、じゃがいも君が里帰り。オープンと一緒に祝ってくれました。

トクして応援！プレミアム付商品券

売れ行き好調！消費者にも事業者にもうれしい商品券です

1冊1万円で  
1万5,000円分！

6月1日から飯館村商工会で販売している「いいたてプレミアム付商品券」。村に住民登録をしている方と村内事業所に勤務している方を対象に、3年目の今年は限定1万5000冊を販売します。村の事業所でのみ使用できる商品券ですので、地域経済の活性化に大きく役立っています。7月14日時点ですでに8164冊（54.4%）を販売済みです。購入予定の方はお早めにごうぞう。

好評販売中！

いいたてプレミアム付商品券

販売期間・使用期間は共に令和4年1月31日まで。1人6冊まで購入できます。販売は商工会館窓口で（平日の午前9時から午後4時）。また8月8日に開催される「いいたて夏まつり」（午前10時から午後2時・いいたて村の道の駅までい館にて）でも特設ブースで販売されます。

理容さかもと



震災直後、川俣町に建てたプレハブの店舗は、道路拡張に伴い建て替えました。うちは4代続く床屋で、今も村の皆さんがお客さん。商品券も活用いただいています。

坂本 剛さん（草野）



「プレミアム付商品券で給油する人が多いですね」。写真は北原商店（草野）のガソリンスタンドです。商品券の発行も3年目。給油での活用が定番となっている人も多いのでは。利用者の方も笑顔です。「必ず使うものですから助かっています」。

カネコ林でんきや



前回は、改築や電化製品の購入など、多くの方に利用していただき、商品券の効果を感じました。注文を受けた時に、商品券の活用をおすすめすることもありますよ。

林 稔さん（白石）



将来につながる取り組みに

大変お得な商品券の発行は、商工業者に活気をもたらしています。商工会の会員のうち、現在、村内に戻って事業を行っているのは約4割で横ばい状態がありますが、こうした活性化の取り組みが、住民の帰還と、商工業者の事業再開や継続につながることを願っています。8月8日には道の駅で、「いいたて夏まつり」を開催します。昨年も多くのお客様に来ていただきましたが、さらに内容を充実させて、住民の交流を進めたいと思っています。



飯館村商工会 会長  
鹿山 真広さん  
（深谷）  
鹿山電気商会の社長でもある鹿山さん。今年5月に飯館村商工会の会長に就任しました。